

# 報告書

開催日時	令和 4年 5月 15日 14時00分 ~ 15時30分
開催場所	オンライン（主催者側は市役所本庁舎・第一委員会室）
担当議員	新井啓司、三橋文男、栗山香代子、高村真和、井上武、川口仁、松田則康 田上祥子、奈良直史、高田浩、瀧口慎太郎、山崎由枝、望月真実、石井芳隆
参加人数	9 人
報告事項	令和4年度予算
意見交換 (テーマ)	市民福祉常任委員会 「地域包括ケア社会～私たちに今できること 知って・考え・やってみる～」 環境教育常任委員会 「誰一人取り残さないオンライン授業へ～こうしたい！見たい聞きたい！を考えましょう～」
参加者 からの 質問・ 意見等	別紙1参照
意見書等 の検討が 必要な 意見等	別紙2の意見等を市へ申し伝えたい。

令和4年6月23日

令和 4年度 第16回議会報告会

市民福祉常任委員長 新井啓司

環境教育常任委員長 田上祥子

## 別紙 1

### 参加者からの質問・意見等（概要）

#### 1 市民福祉常任委員会

##### (1) 地域包括ケア社会について

###### ア ボランティア活動等の支援について

- (ア) 各地で自治会の加入者が減少しており、加入者を減らさないための対策が必要と考える。
- (イ) 行政から自治会に依頼される仕事が多く、役員の負担が大きいことを理由に役員のなり手は減る一方であり、対策が必要と考える。
- (ウ) 地域におけるボランティア活動は大切だが、活動するにはある程度のお金が必要である。例えば、ボランティア活動をすると店舗等で使用できるポイントが与えられる「ポイント制」等の支援策を考えてはどうか。

###### イ 防犯対策について

橋げたの側面、道路等の落書きがひどいため、監視カメラを設置する等治安対策が必要と考える。

##### (2) その他市政一般に関する意見等

富士山が噴火した場合の市内の被害は想定されているか。市として被害想定、対策等を見直せば、防災備蓄倉庫の備蓄を増やすことなどにつながるのではないかと考える。

#### 2 環境教育常任委員会

##### (1) オンライン授業について

###### ア オンライン授業、端末の活用について

- (ア) オンライン授業を希望しても対応してもらえない学校がある。その事実をしっかりと把握してもらいたい。
- (イ) ドリルアプリについて、子供たちはアプリを好きなときに、家庭などでも自由に使えるか。また、専用端末以外でも使えるか。
- (ウ) 端末の活用は不登校の子供のためにも推進してほしい。また、緊急時だけでなく、通常時の利用も促進してほしい。

###### イ オンライン授業を受ける児童・生徒の評価について

- (ア) 不登校の子供がオンライン授業を受けている場合の評価方法が学校によってばらつきがある。オンラインで授業を受け、提出物を出しているのに、成績は斜線の子供がいる一方で、オンライン授業は受けずに週に1、

2回学校に行き、プリント等を提出している子供は評価を受けている。

(イ) 教育委員会は児童・生徒の評価を学校に委ね過ぎているため、オンライン授業における評価について、教育委員会で指針をつくるべきである。厚木市内でばらつきがあるのはおかしい。文部科学省からもオンラインによる教育活動を最大限に評価して良いと通達がされているはずである。

(2) その他教育施策に関する意見等

ア 「誰一人取り残さない」の意味について

対象は様々な事情で学校に行けない子供の事か、もっと広い意味か。また、「取り残さない」とは、授業の機会を提供するという意味か、それとも落ちこぼれないようにするという意味か。

イ 子供達へのサポートについて

学校には授業についていける子、いけない子、ついていこうとする子、しない子など、様々な子供がいる。それぞれに応じたサポートの体制や支援制度を検討しているか。

ウ 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について

委員として地域の教育力を生かすためにいろいろ考えてきたが、結局学校のお手伝い係になってしまう現状がある。先生の働き方改革も大切だが、地域の教育力を生かさずに終わっている現状はいかがなものかと思う。

## 別紙 2

### 第16回議会報告会で参加者から寄せられた意見等

No.	意見等
1	各地で自治会の加入者が減少しており、加入者を減らさないための対策が必要と考える。
2	行政から自治会に依頼される仕事が多く、役員の負担が大きいことを理由に役員のなり手は減る一方であり、対策が必要と考える。
3	地域におけるボランティア活動は大切だが、活動するにはある程度のお金が必要である。例えば、ボランティア活動をすると店舗等で使用できるポイントが与えられる「ポイント制」等の支援策を考えてはどうか。
4	橋げたの側面、道路等の落書きがひどいため、監視カメラを設置する等治安対策が必要と考える。
5	富士山が噴火した場合の市内の被害は想定されているか。市として被害想定、対策等を見直せば、防災備蓄倉庫の備蓄を増やすことなどにつながるのではないか。
6	オンライン授業を希望しても対応してもらえない学校がある。その事実をしっかりと把握してもらいたい。
7	G I G Aスクール端末の活用は、不登校の子供のためにも推進してほしい。また、緊急時だけでなく、通常時の利用も促進してほしい。
8	不登校の子供がオンライン授業を受けている場合の評価方法が学校によってばらつきがある。オンラインで授業を受け、提出物を出しているのに、成績は斜線の子供がいる一方で、オンライン授業は受けずに週に1、2回学校に行き、プリント等を提出している子供は評価を受けている。
9	教育委員会は児童・生徒の評価を学校に委ね過ぎているため、オンライン授業における評価について、教育委員会で指針をつくるべきである。厚木市内でばらつきがあるのはおかしい。文部科学省からもオンラインによる教育活動を最大限に評価して良いと通達がされているはずである。
10	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の委員として、地域の教育力を生かすためにいろいろ考えてきたが、結局学校のお手伝い係になってしまう現状がある。先生の働き方改革も大切だが、地域の教育力を生かさずに終わっている現状はいかがなものかと思う。